

景観セミナー 「八ヶ岳の景観をよくするには」

NPO 法人 八ヶ岳南麓景観を考える会
理事長 桑田 愛子

2005 年 11 月 10 日 (北杜市高根町)

1. NPO法人 八ヶ岳南麓景観を考える会の紹介

八ヶ岳南麓地域を愛し、この美しい八ヶ岳南麓の景観を世界に誇れる財産として次世代に伝えようと、活動する市民グループ

発足 2001 年

今年 3 月 NPO 法人になる

<http://keikan.web.infoseek.co.jp>

景観法：美しく風格ある国土形成
潤いのある豊かな生活環境の創造
個性的で活力ある地域社会の実現



大泉町からの八ヶ岳

2. 八ヶ岳で重要な景観となる要素 (森、田園、家、道路)

- 景観はその地域の住民の意識 → 当会は八ヶ岳南麓を対象に活動

森の景観： 元気な森は美しい森

「八ヶ岳の森づくり」 間伐、樹木ウォッチング、森ウォークなど

道路景観： すっきりした道路を・・・看板調査、行政への提案 駐車場の変更

家並みの景観： 古民家の調査 (委託事業として景観形成の推進のための調査)、

八ヶ岳らしい家の提案、自然の庭の提案

景観研究と行政への提案： 景観形成の提案 (土地開発事業の適正化に関する要望)

歴史を知る： 景観の土台となる歴史 「地元の人が語る地元の暮らしと歴史」

3. 「景観はみんなのもの、私たちの家も庭も、みんなの景観」

- 良好な景観は、地域の資産、国民共通の資産。
景観は、目にはいるものすべて (自分の家も景観の一部)
景観は、個人だけではできない。地域全体で作ってあげていくもの。
土地は私有地であっても、その上物は公共のものという意識が必要。
ヨーロッパでは、壁の色、屋根の色、高さ、素材など細かい規制
美しい風景にするには : **連続性、統一感**
景観は、その地の自然、風土、歴史などが融合してできるもの。
景観は、その地の人々の暮らしの結果、意識の表れである。

4. 八ヶ岳にふさわしい景観は(八ヶ岳に求められる景観は)?

雄大で、広々とした、美しい自然 (当会のアンケートによる)

八ヶ岳の自然の風景に調和する家並み・道路が良好な景観を作る。

美しい景観は、心を豊かにし、多くの人を惹きつける。

その地域の自然を大事にすれば、自ずと個性になり、差別化になる。

景観なくして観光なし。景観なくして経済効果はない

5. こうすれば良くなる、道路景観

すっきりした道路景観は心地よい。 → 観光地としての価値を高める

看板とは : 企業の顔、 広告、 案内
企業イメージに、プラス効果、マイナスイメージ?
広告として本当に効果はあるのか?

看板: 目立つものにしない
周囲の自然環境と調和し、景観を壊さない。
できる限り、設置せず、不要なものは撤去する。

景観のワースト3: 看板、 電柱・電線、 ガードレール
道路景観は、観光地の印象を決定づける。



八ヶ岳高原ライン、大泉町

6. よくするための提案

●景観行政団体になったので、これらは可能となった。

- a. モデル道路をつくる: 比較でき、効果がわかる。
「長坂 IC から天女山」 --- 八ヶ岳への玄関口
「レインボーライン」 --- 早めの規制を
- b. 看板の大きさ、色、デザイン、数の規制
禁止地域を作る。 また、道路から見える範囲の看板の規制を行う。
のぼり旗の禁止。(交通安全協会、郵便局、JR、JA など公共のものが多い)
- c. 交通標識、公共の案内板: 必要な所だけにする、
目立つものでなく、周囲の環境になじむもの。 大きさ、色の統一
- d. 電柱・電線の地中化 ・ 茶色化
眺望がよい八ヶ岳では、電柱・電線のない風景は大変心地よい。
景観計画で景観重要道路に指定されれば、やりやすくなった。
- e. ガードレール: 必要な所だけにする。
茶色化、 街路樹、 石柱などに変更
- f. 街路樹: 道路の連続性を保つ、 統一感を生む。 建物を木越に見る。
自然樹形(剪定しない)で、のびのびと。
山梨県は、なぜ、強剪定のマッチ棒の街路樹なのか。
地域の木を使う。
- g. 樹木による目隠し: 樹木により連続性、周囲との調和
駐車場、店舗の周囲に植樹をして、直接見えないようにする。
道路沿いは自治体で買い取る、あるいは借地にして、樹木を植える→連続性
- h. 沿道の森の樹木を活かす: 自生の木の花が見えるように整備→ 景観ポイントに
ダンコウバイ、コブシ、サクラ、ウツギ、ヤマツツジ、レンゲツツジ、モミジなど
- i. 法面の野草化: 八ヶ岳らしさ、身近な自然が魅力である
自生の野草を法面に育てる。

■ 美しい景観を失うのは早い、 復活と信頼を取り戻すのは、時間がかかる。